

低圧進相コンデンサ設置による変圧器容量の余力確保

この化学工場では、主要製品を製造する工場棟の「変圧器容量の余力確保」および「電力損失の低減」などを目的として、力率改善を実施しました。

また、力率を改善するための進相コンデンサを屋内変電所の二次側に設置したことにより、高調波電流の吸収とともに、電気室の温度上昇を抑制することもできました。

改善内容

- 変圧器二次側に進相コンデンサ(50kVA×5台)を取り付けた。

改善効果

- 力率が80%から95%に改善したことにより、変圧器容量が約16%増加し、あわせて電力損失の低減も図れた。

※改善費用：350万円

【システム図】

